



えが お

令和 8 年 1 月 9 日発行
第 9 号

都立城東特別支援学校長
秋本 友美

「読書活動は、学びの基点」～豊かに生きていく力の素地～

校長 秋本 友美

新年、おめでとうございます。

元号が「令和」となり、言葉の意味を調べたのは、つい先日だった気がします。

そして、来たる令和8年4月には、令和生まれの児童たちが入学します。学校は、7年度のまとめと共に、入学生を迎える諸準備・8年度の各種計画の立案等、新年度が円滑にスタートできるよう、残る3カ月は様々な準備や調整をしています。

上述のまとめ・準備の報告の一つとして、3月4日（水）全校保護者会を行います。12月全校保護者会後にQRコードで寄せて頂いた質問等は、その際に反映してお伝えいたします。

さて、昨日の始業式等で、子供たちや教職員に話したことを一部御紹介します。

- ①「あいさつをしましょう」
- ②「健康・学習・友道を大切にしよう」
- ③「どんなことでもOK『これにチャレンジ!』と目標をたてよう」
- ④「たてた目標を、友達や先生、おうちの方に伝えてみよう」



ベースは「人権」「意思表出」「コミュニケーション」、いずれも「教育の本質」です。そして、これらは「目標や課題解決に向け主体的に取り組む」教育活動にすべてつながるものです。私たち大人も、**温かい人間関係を構築**するために、応用できますね。私自身、上記を実践し、児童・生徒及び教職員のロールモデルになるよう、努めてまいります。

また、始業式・終業式・修了式の各儀式の際には、時事の出来事に係る様々な「表彰」を行っています。昨日の始業式では、「読書月間」を通して、いつも以上に本に触れる機会を多くもったクラスを表彰しました。ただ、「本を多く借りる」ことだけに価値を置いた活動ではありません。**学校経営計画に掲げた「読書活動の推進の意義」**を、少しお話します。

読書は、子供たちの主体的・対話的な深い学びを実現するとともに、**生涯にわたって豊かに生きていく力の素地**を育むことにつながります。「**学びの基点**」です。

「本を読みたい！触れたい！読んで欲しい！興味・関心の高まり」から「読解力の向上」や「読書に喜びを感じたり、考えを深めたり、他の人へ伝えようとしたりする姿」が期待される学びです。また、思いがけないジャンルとの出逢いや、もっともっと「好き」を高めることにつながったり、図書室そのものが、落ち着く・好きな場所の一つになったりすることも！

そして、図書室は地域で言えば、図書館です。図書館には、当然規則やマナーがあります。「**学校で学んだことを、地域や社会で生かせるようにする**」ためには、「図書室」を始め、校内のリソースを改めて、**社会や地域の中で例えると何に該当するのか**を、常に意識して指導・支援をすることが重要です。その指導・支援が子供たちのキャリア発達を促進させることにつながると考えるからです。

令和8年度は、城東特別支援学校の図書室を、ハード面（環境整備）・ソフト面（教材とした授業改善・能動的な学習や読書活動を促進）共に、パワーアップして参ります。

改めて、令和8年もどうぞ、よろしくお願いします。

「読書活動の充実のために」～環境整備～

図書担当 主任教諭 石田 知香

読書月間が終わりました。月間中に限らず、本や絵本が好きで日頃から多くの児童・生徒は、学習や生活の中で、教員に本を読んでもらうことや自分でページをめくることを楽しんでいる様子が見られます。さらにより多くの子供たちに「本が大好き!」「図書室が楽しい!」と、本に親しみ、読書に喜びを感じられる図書室を目指して、本年度より、読書環境を充実していきます。

①図書室内の配置・レイアウトを変更し、子供たちがリラックスしたり、気持ちを落ち着けて過ごせたりする環境を整備します。

②子供たちが思わず手に取りたくなるような魅力的な本を増やすため、蔵書している図書の見直しを大幅に行います。古い図書を廃棄し、最新の図書を増やす計画です。図書の分類も工夫し、子供たちだけでなく、教員も図書を探しやすく、より学習に活用しやすい環境を整えていきます。

開校以来 10 年ぶりの図書室のリニューアル!どうぞお楽しみに!!

読書は、生涯学習につながります。中学部では、昨年 12 月に城東図書館に行く学習に取り組んだ学年もありました。将来にわたり、地域で生きる中での身近な余暇活動として読書活動を推進し、**自ら本を手取る一助となる図書室**を目指していきます。校内の読書月間は終わりましたが、御家庭でもお子さんと一緒に読み聞かせや本屋さん・図書館巡りはいかがですか。



「読書に親しむ活動」～読書月間・おはなし給食～

図書担当 教諭 奥平 理恵

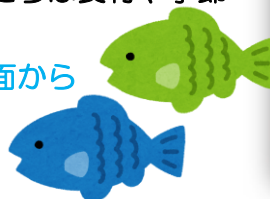
昨年、11 月 4 日から 12 月 5 日まで読書月間でした。読書活動をより楽しく、意欲的に取り組めるように、本を借りたり読んだりした数に応じて「じょうとうくんシール」を読書カードに貼ります。シールが増えていく喜びと達成感が、**次の 1 冊を手取る意欲**につながりました。

また、11 月から新たに「おはなし給食」コーナーを図書室の一角に設置しました。毎月の給食の献立からテーマとなる食材や題材を選んで、給食と図書をつなぐ仕掛けです。

11 月のテーマは「リンゴ」、12 月のテーマは「冬至」でした。テーマに合わせて図書室の本をディスプレイし、児童・生徒たちが興味をもって手に取りやすいように工夫しています。

ここに並んだ本は貸し出しが非常に多く、子供たちは食材や季節の行事に関心を深めながら読書を楽しんでいます。

給食と図書を結ぶことで、**食育と読書活動の両面から学びを広げる**取り組みを、一層充実させていきます。1 月のテーマ「魚」です。



【お知らせ】

いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対応等を目的とし、「第二回お互いを大切にするアンケート」を令和 7 年 11 月 5 日（水）から 13 日（木）まで実施しました。アンケート結果については、令和 8 年 1 月 15 日に Classi（クラッシー）にて配信予定です。

【えがお後記】東京都では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「子供読書活動推進計画」を策定し、様々な取組を通じて子供たちの読書活動を推進しています。

本校においても、子供たちの学習の基盤となる資質・能力を育成するため、日々の授業や「読書月間」などの取組を通して読書活動を促進しています。今後も環境整備を含め、子供たちの自主的・自発的な学習活動や読書活動を支える取組を進めてまいります。副校長 富樫 忠